

認知症予防 わくわく教室を開催します

日本の認知症の患者は、現在7人に1人と推計されます。認知症の前段階とされる「軽度認知症」の方を合わせると、高齢者の4人に1人が認知症あるいはその予備軍ということになります。

認知症は、脳の障害による病気で、誰もがかかる可能性があります。生活習慣を見直すことで、発症を遅らせたり、症状を軽くすることができる場合があります。

手先を使い創造力を働かせた活動や運動、みんなでわいわい話をして交流することで、楽しく認知症予防をしませんか？

平成30年度 認知症予防わくわく教室

開催日 (全6回)	内 容 (予定)
9月 3日 (月)	教室の説明・医師の面接・個人活動
9月18日 (火)	個人活動・集団活動
10月 1日 (月)	個人活動・集団活動
10月22日 (月)	個人活動・集団活動
11月 5日 (月)	個人活動・集団活動
11月27日 (火)	わくわく教室修了者との交流会・修了式

個人活動

手先を使った活動(小物入れ作りなどの手作業)や運動を行います。

集団活動

ひとつの目標に向かって参加者が協力して活動します。(内容は検討中)

毎日の活動

和医大脳神経外科開発の脳トレドリルを自宅で行います。

時 間：13時30分から16時頃まで

場 所：地域福祉センター 2階

定 員：20名程度

参加費：1500円

申込先：湯浅町地域包括支援センター
健康福祉課内(14番窓口)

☎ 64-1120

8月17日(金)までにお申し込みください

「ぴあサロン」～認知症の方と家族の交流会～

8月8日(水) 13:30～15:30 湯浅町役場 1階 多目的室

認知症の方と家族のつどいです。「認知症の方の介護」という共通の内容で、心に溜め込んだ想いを話してみませんか。介護の工夫や情報も集まります。会場内の話は外にもらさない事を条件に、色々な事を語り合しましょう。

くわしくは・・・湯浅町地域包括支援センター

健康福祉課内(14番窓口) ☎ 64-1120



地域包括支援センターだより

認知症 初期集中支援チームが サポートします!!

(平成30年4月発足)

○どんなことをするの？

- ・認知症に関する専門相談窓口
- ・電話相談や訪問によりお話を伺い、相談後は集中的に支援します
- ・医療機関と連携しながら、病院受診やサービス利用などの支援をおこないます

○チームのメンバーは？

- ・町内の認知症サポート医・湯浅町地域包括支援センター職員

○相談の対象者は？

認知症の症状などでお困りのご本人及びご家族の方

例えば・・・

- ・認知症の診断を受けたいが本人が拒否している
- ・デイサービスに行ってほしいが行きたがらず閉こもりがち
- ・認知症の症状が強くなり家族が対応に困っている
- ・認知症の治療や介護サービスを中断している

相談窓口

湯浅町地域包括支援センター
健康福祉課内(14番窓口)

☎ 64-1120

